

# カラヴァッジョ、その光と影

## 美の革命児参上

西洋美術史家 木村泰司

宗教改革の嵐に揺れるローマで、彗星のごとく現れた美の革命児、それがカラヴァッジョでした。理想美を排したリアリティ溢れる描写、ドラマチックな光と影のコントラストなど、彼の芸術の強烈な個性は多くの追従者を生みました。その影響力はイタリアのみならず、スペインやオランダなどその影響はヨーロッパ各地へと広がっていったのです。カラヴァッジョ芸術に象徴されるバロック絵画の数々には、当時の宗教、政治、社会背景などが見事に表れています。それらは聖職者や貴族など時の権力者たちを主人にしながらも、したたかに彼らの素顔、つまりその光と影までも暴き出しているのです。しかし、その人生は殺人を犯した後、ローマを逃れて流浪の人生を送り、ローマ教皇からの恩赦を期待するなか、38歳でその波乱の生涯を終えたのです。この講座では、美術史という大河の一大潮流となしたカラヴァッジョの人生とその芸術性を辿ります。

### <講師紹介>

・木村泰司 1966年生まれ。米国カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を修めた後、ロンドンサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。知識だけでなく、エスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。

著書に『名画の言い分』（集英社）、『印象派という革命』（集英社）、『おしゃべりな名画』（KKベストセラーズ）、『名画は嘘をつく』（ビジュアルだいわ文庫）、『知識ゼロからの肖像画入門』（幻冬舎）ほか、エッセーの執筆などで活躍中。



photo 高木昭仁

日時 6月25日 日曜日  
11:00 ~ 12:30  
受講料 会員 3,024円  
一般 3,564円



朝日カルチャーセンター  
朝日JTB・交流文化塾

〒530-0005

大阪市北区中之島2-3-18

中之島フェスティバルタワー18階

Tel (06) 6222-5222